



紙上フォト・ギャラリー

フラミンゴの涎

王子動物園13:00の食事時に行くと水に首をつっこんで食べ、首を挙げると涎が垂れる。

撮影／岡野 安雅（神戸市東灘区）

第47回通常総代会 理事長挨拶

理事長 小柴 孝夫

本日は、総代各位におかれましては週なかば、午前診でお疲れのところ、またご多忙中にもかかわらず神戸医師協同組合の第47回通常総代会にご臨席賜り、誠に有難く厚くお礼申し上げます。

先刻、当組合の子会社でございます神医協興産株式会社第32期定時株主総会も無事終了いたしました。

今回の改選で代表取締役の本間道朗先生、取締役の兵庫県民間病院協同組合の吉田耕造先生、それから尼崎市医師会理事で兵庫県医師会常任理事の明石恭治先生が就任されましたことをご報告申し上げます。また、監査役に関しましては今期は改選ではございませんが、任期4年のうち2年を残しておられた安田先生のご辞退がございましたので、西区の河村宗典先生をお願いすることといたしましたのでご報告申し上げます。



先日行われました日医役員の就任披露パーティに鳩山総理自ら出席されご祝辞をいただいたその翌日、突然の小沢幹事長道連れの辞任劇には皆様も嘩然とされ、驚くばかりだったと存じます。普天間問題、政治とカネの問題、ご本人の思いならず、権力の二重構造の下、50%を超える支持率の下落が、何よりの短命を明白に

語っているのであろうと思います。昨年9月の歴史的な圧勝で政権交代を実現しました民主党への期待感も大なるものがありました。しかし本年4月の診療報酬の改定では、巨額な財政赤字にあえいでいるとはいうものの、社会保障の根幹である、

また医療の支柱でございます診療所に対して冷淡すぎた結果に終わったわけでございます。更に内閣府の行政刷新会議に設置された、規制・制度改革に関する分科会は前自民政権下の規制改革推進会議と変わらぬメ

第47回通常総代会を開催

神戸医師協同組合では平成22年6月10日(木)午後3時より、神戸市中央区北野町1-1のANAクラウンプラザホテル神戸「ローズマリー」で第47回通常総代会を開催しました。

総代会に諮られた以下の8議案はいずれも原案どおり可決されました。

- <第1号議案>平成21年度事業報告、財産目録、貸借対照表及び損益計算書承認の件
 - <第2号議案>剰余金処分案承認の件
監事報告
 - <第3号議案>平成22年度事業計画、収支予算案承認の件
 - <第4号議案>平成22年度役員報酬決定の件
 - <第5号議案>平成22年度借入金最高限度額承認の件
 - <第6号議案>平成22年度組合員の組合に対する総出資額限度の件
 - <第7号議案>平成22年度加入金徴収の件
 - <第8号議案>役員任期満了につき改選の件
- なお、総代107名のうち56名が出席、代理出席14名、委任状18名、書面による議決権の行使者13名でした。

ンバー、即ち市場原理主義者により、医療関係者の一人の参加もなく審議が進められています。残念ながらこの点、鳩山総理が唱えたのは「コンクリートから人へ」また「命を大切に」というスローガンでございましたが、これに離反し、考えが全く違うではないかという声は民主党の中からも聞こえてきません。

全国にさきがけて機関、総合特区構想が神戸の地で計画されつつございます。混合診療と表裏一体の特区構想は、元植松日医会長時代にも、日医主導で国民皆

保険を瓦解するものとして阻止してまいった経緯がございます。

神戸の国際交流センター、先端医療センターがターゲットとなっていますが、特区構想の導入は私個人的には断じて許してはならないと思っております。世界に冠たる日本独自の医療文化そのものが亡びることになるからにはほかなりません。

本論からそれましたが、皆様方と医療理念を共有いたしたいとの強い思いがございましたので、この場を借りて申し上げさせていただきます。ご容赦下さい。

さて、本組合も医師会と同様、今期改選の時期でございます。過去2年間を振り返り主たる問題についてご報告と若干の所見を申し述べます。就任当初、事業運営方針8項目をお示しいたしました。先ず総代会が6月10日という今日に至った日程の件でございますが、中小企業等協同組合法の大幅改正に基づきまして、21年度の決算は22年3月31日まででございますので、それが明らかになるのが4月10日頃となります。それ以降会計監査に4週間がこの組合法の改正で必要とされており、監事による会計監査の結果を踏まえ、また理事会の承認を経ての総代会開催となります。ですから、最速でも5月末か6月上旬に入らざるを得ません。またこの時期、土曜日には郡市区医師会の春期総会が多く集中しておりますので、今回も週の途中の木曜日、6月10日とさせて頂いた次第でございます。

就任直後、事業活性化対策委員会を設置し、すでに前総代会でご報告申し上げました様に当組合の『事業案内』と共に『ホームページのリニューアル』を果させていただきました。

昨年度では、わずかに出資金1,000円、加入金16,200円、計17,200円で一口組合員として登録させていただくことを周知徹底してまいりました。少しでも多くの組合員の獲得ができますよう、郡市区医師会長様、庶務担

当役員様にも引き続きよろしくようお願い申し上げます。

本年2月15日現在の状況を申し上げますと、当組合員数は2,139名でございます。県下のA会員数（有資格者）が4,605名ですから、まだ神戸医師協同組合にご加入なさっておられない先生方が5割以上おられるということになります。

この際、総代各位におかれましても新規入会A会員のみならず、既入会A会員各位にも当組合入会の勧奨をよろしくお願い申し上げます。

第1号議案、事業報告にも記載しておりますが、お蔭さまで神戸医師協同組合の売上総額は過去最高額の約100億円を達成することが出来ました。子会社であります神医協興産と合わせますと104億円という数字になります。これもひとえに郡市区医師会長様をはじめ組合員各位のご理解、ご協力の賜物とこの場をかりまして厚く御礼申し上げます。

昨年の神戸市発の新型インフルエンザによる神戸市医師会様をはじめ、県医師会様のPPE、簡易検査キットのご発注も売上に寄与したところ大でした。また、この事案が郡市区医師会様との連携強化を押し進める結果となり、大変よろこばしく存じております。更に、組合員各位との信頼強化を期し、職員の意識改革を求めため、接客マナーの専門家による講演の実施、一般職員、管理職員の職員教育にもつとめてまいりました。

最後になりますが、エコ対策に続きまして経費節減対策を月一回、各部・課長以下係長、また一般職員も含めた委員会で討議し、できるところから実施させていただいておる状況でございます。低炭素社会に少しでもお役に立てるよう、営業マンの自動車の軽量化、エコ運転の知識普及と実施等を行っているところでございます。ここで、お手許に配布させて頂きました参考資料について付言いたします。これは農政環境管理局大気課による「CO₂削減協力事業」に基づく第1号

のマッチング案件として、リネン部明石工場のボイラーのA重油を都市ガスに変更いたしまして、CO₂削減量年間578トンを川崎重工業株式会社が買取ることに決まった件でございます。この件につきましてはすでに新聞等でもご覧いただいているかとも思いますが、医協ニュースでも掲載させていただいたところでございます。

私としましてはまだまだ至らぬところが多く、未だご満足いただける結果には道遠しの感がございますが、神戸医師協同組合を引き続きご支援賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。ご挨拶と致します。有難うございました。